

1 研究主題

考察まで見通しをもって主体的に取り組む子の育成

2 研究内容

問題解決の過程である「考察」の場面をより充実した活動とするため、問題の見いだしや予想・仮説の設定、観察、実験の場面において、児童が主体的に事物・事象に関わる授業づくりについて研究する。

3 研究年間計画

月日	内容	授業実践・活動等
5月17日(水)	部会	年間計画、研究主題、授業者等の決定
6月7日(水)	部会	指導案検討
7月5日(水)	研究授業①	5年「魚の誕生」 授業者：宮脇 佳彦 主任教諭(第四小学校) 講師：国立市教育委員会 指導主事 小島 章宏 先生
9月5日(水)	部会	指導案検討
10月4日(水)	研究授業②	4年「電池のはたらき」 授業者：秋吉 健司 主幹教諭(第十小学校) 講師：東京都教職員研修センター 統括指導主事 先崎 達彦 先生
11月8日(水)	部会	指導案検討
12月6日(水)	研究授業③	5年「ふりこのきまり」 授業者：久保田 萌海 教諭(第十小学校) 講師：東京都教職員研修センター 統括指導主事 先崎 達彦 先生
1月17日(水)	部会	次年度の研究に向けて

※東京都小学生科学展市内代表作品の選考委員を理科部より選出
(担当校長1名及び教員4名)

4 次年度に向けて

今年度は、「考察」に着目して、研究を進めた。研究の中で、「考察」を充実したものにするためには、児童が主体的に活動する場面の設定が肝要ではないかという検討がなされた。

また、問題解決の過程の中で、児童がより思考を深めることができるようにする必要性を研究授業の中で再確認した。

次年度については、研究授業の中で課題となった「主体的に活動する場面の設定」「より思考を深めさせるための発問」などについて、研究を進めていきたい。